

第2回 三重県立白山高等学校「学校運営協議会」「活性化協議会」概要

令和2年10月22日(木)

於：白山高等学校 会議室

1 あいさつ

白山高等学校長

- ・令和3年度募集定数 普通科2クラス、情報科1クラス 計3クラス
1クラスの人数 35名に減。

三重県教育委員会

- ・県立学校ICT環境の整備について
- ・令和3年度 募集定数について
- ・7月時点の中学3年生の進路希望調査、定数105名のところ、希望者25名
- ・活性化計画が令和4年3月に終了するのを受け、三重県教育改革推進会議で今後について検討していく。

2. 報告事項

(1) 第1回「学校運営協議会」概要について(別紙)

(2) 第2回「学校活性化協議会」概要について(別紙)

(3) その他

3. 協議事項

(1) 各種アンケート調査について(別紙)

- ・学校生活(生徒向け)
- ・保護者
- ・教職員
- ・学校運営協議会委員<地域>

○7月～9月終わりにかけて、アンケートを実施。

○それぞれのアンケートについて傾向を説明。

○生徒、保護者は、概ね白山高校での生活に満足を示している。保護者の学校に期待するものは、年々、部活動が増えている。教職員は保護者や中学校に対して求めるものは、基本的な生活習慣が多い。

(2) 学校自己評価(中間報告)について

- ・学校マネジメントシート
- ・分掌マネジメントシート

○本年度の計画と評価を説明。

○総務・教務・生指・進路、それぞれの分掌の計画、現状、評価を説明。

- 今年度は、コロナの影響で様々なことを、例年通りから変更せざるをえないが、その中でも、できることを模索して、教育活動を行なっている。
- 登下校の臨時バス利用による分散登下校、朝学の時間を利用した体調管理、昼食指導、進路指導の工夫など、各主任から説明。

(3) 活性化プランに基づく進捗状況について

- 進捗状況について説明。
- 名松線、近鉄などの鉄道関係、コミュニティーバスについての要望書は、昨年度と同様に要望していく。名松線一志駅のプラットホームの屋根の設置、2両目の扉開閉の有無、家城駅北側の出口について、近鉄の駐輪場の設置など、例年通りに要望。
- 地域と連携した学びについて、コロナの影響で2年インターンシップや、3年職業体験を実施できていない。今までの恩返しとして、名松線や、お世話になっている企業をPRするマップや、動画を作成。地域をプロデュースすることを計画、実施している。名松線のPRポスターを浜松学芸高校と連携して作成し、各事業所、行政機関、小中学校へ配布したい。

(4) 教育課程など、その他に関する要望について

・令和3年度入学生 教育課程

- 教育課程について説明。
- 1, 2年生に必修科目を多く、3年生で選択科目を多く置くことで、多様な進路希望に対応。
- 地域から愛される学校作りを、継続して欲しい。

(5) その他

- アンケート結果から、放課後何もしていない生徒が多くいるようだが、コロナの影響で部活動紹介、勧誘など出来なかったことが原因なのではないか。
- 時間を守る、挨拶をする、コミュニケーションが取れるなど、社会に出たときに必要な力を、身につけさせて欲しい。
- 今年度、保護者の方の学校行事等への参加が難しい状況ではあるが、体育祭に関しては感染症対策をした上で、保護者の観覧が可能。

4. 連絡事項

(1) 次回の日程について

・こんにゃく講習会（地域交流部会）

- 科目「フードデザイン」で実施する予定。1月21日（木）5. 6限で実施する方向で検討。
- ・第3回 学校運営・活性化協議会 令和3年度2月18日（木）18：30～

(2) その他

特になし